

## 総合案内

### 日程・会場

会 期 : 令和4年7月14日(木), 15日(金)(On-Site)  
令和4年7月16日(土), 23日(土)(サテライトセッション Web-Live 配信)  
令和4年7月20日(水)~26日(火)(共催セミナー Web-Live 配信)  
令和4年7月16日(土)~8月31日(水)(オンデマンド配信)

会 場 : タワーホール船堀  
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 Tel. 03-5676-2211

### 日 程

会期	時間	内容	会場
7月13日(水)	12:00~17:00	日本整形外科学会理事会	タワーホール船堀
7月14日(木)	9:00~19:10	学術集会1日目	タワーホール船堀
7月15日(金)	9:00~17:20	学術集会2日目	タワーホール船堀
7月16日(土)~8月31日(水) 予定		オンデマンド配信	学術集会ホームページ

### 使用会場

会場(タワーホール船堀)			内容
第1会場	大ホール	5階	開会式, 各種講演, シンポジウム, 閉会式
中継会場 飲食・休憩スペース	イベントホール 瑞雲・平安	2階	第1会場 中継映像
展示会場	ロビー	5階	機器展示・書籍展示
参加受付・総合案内	ロビー	5階	参加登録受付
PCセンター	ロビー	5階	PC受付

### 第55回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集會事務局

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科  
事務局長 岩田慎太郎  
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1  
Tel. 03-3542-2511

### 同 運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル14階  
日本コンベンションサービス株式会社内  
Tel. 03-3508-1214 E-mail joa-tumor55@convention.co.jp

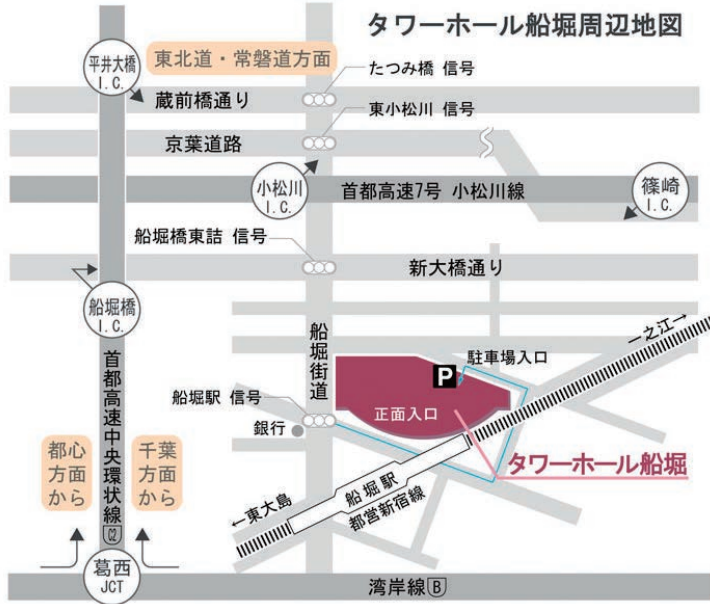
学術集会ホームページ <https://site.convention.co.jp/joa-tumor2022/>

# 交通案内図

タワーホール船堀

〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1

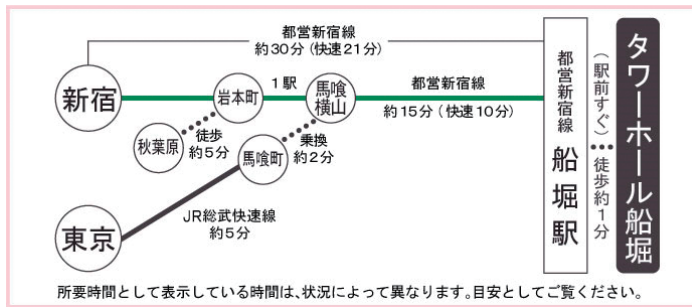
Tel. : 03-5676-2211



## 【電車をご利用の場合】

新宿駅より「都営新宿線」にて本八幡方面へ約30分。船堀駅下車，徒歩約1分。

東京駅より「JR 総武快速線」馬喰町駅にて乗換。馬喰横山駅から「都営新宿線」で船堀駅下車，徒歩約1分。



## 【空港からバスをご利用の場合】

羽田空港からリムジンバスにて「都営新宿線」一之江駅前下車，「都営新宿線」にて新宿方面へ1駅

約2分。船堀駅下車，徒歩約1分。

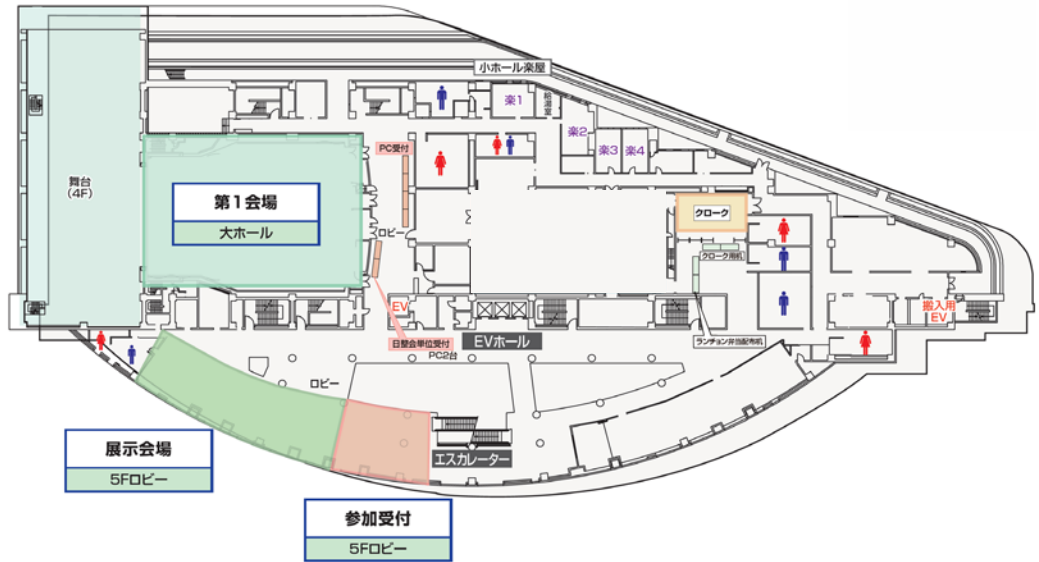
成田空港から京成バスにて「都営新宿線」一之江駅前下車，「都営新宿線」にて新宿方面へ1駅

約2分。船堀駅下車，徒歩約1分。

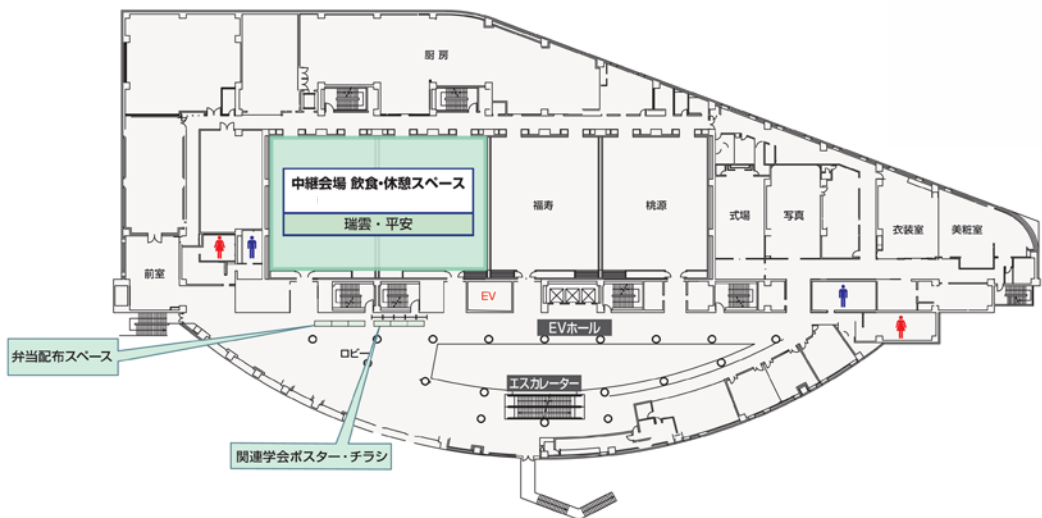
# 会場案内図

## タワーホール船堀

5階



2階



# お知らせとお願い

## I. 参加者の皆様へ

### 1. 参加登録

#### (1) 参加登録方法

会員の方は、日整会会員 ID が必要となりますので、必ず IC 会員カードをお手元にご用意ください。

#### (2) 参加登録費

カテゴリー	登録内容	参加登録費	期間
日本整形外科学会会員・ 非会員	事前登録	15,000 円	5月25日(水)～7月13日(水)
	会場での当日登録	17,000 円	7月14日(木)～7月15日(金)
	オンライン参加費	15,000 円	7月16日(土)～8月31日(水)
病理医	-	8,000 円	5月25日(水)～7月13日(水)
初期臨床研修医(研修会員) <sup>*1</sup>		5,000 円	
メディカルスタッフ <sup>*1,2</sup>		5,000 円	
学部学生(大学院生除く)		無料	

※1 初期臨床研修医、メディカルスタッフおよび学部学生の方は、所属長の証明が必要です。詳細は本学術集会ホームページ(<https://site.convention.co.jp/joa-tumor2022/registration/>)からご確認ください。

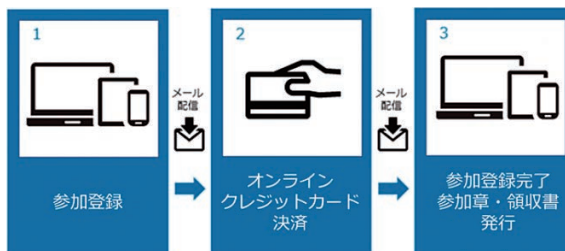
※2 看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士等

## 2. 参加受付の手続き

### (1) 参加登録

#### 1) 参加登録方法

参加登録には日本整形外科学会発行の会員 ID およびパスワードが必要となります。会員 ID は会員カードに記載された 6 桁の数字です。パスワードは、日整会にメールアドレスを登録済の場合はオンラインで再発行が可能です。いずれも紛失されてしまった場合やメールアドレスが未登録の場合は、(1) 氏名、(2) 生年月日を明記の上、日本整形外科学会事務局までメールにてお問合せください。非会員の方は、会員 ID およびパスワードは不要です。



学術集会ホームページより参加登録画面にお進みいただき、必要事項を入力してください。参加情報登録後、入力した情報が記載された参加情報登録完了メールが自動送信され

ます。登録されたメールアドレスとパスワードは、オンデマンド配信の視聴に必要となります。

## 2) 支払期限

必要事項をご入力の上、画面をお進みいただき、「確定する」ボタンを押すと「申込完了」画面へと遷移します(この時点では、参加登録はまだ完了していません)。

### 【すぐに参加費の支払いをされる場合】

そのまま「今すぐ決済する」ボタンから決済画面に進み、カード番号、カード有効期限、セキュリティコード(クレジットカードの裏面または表面に記載された3桁もしくは4桁の番号)を入力し、決済を完了してください。

### 【後で参加費の支払いをされる場合(72時間以内)】

「確定する」ボタンを押した際に、登録したメールアドレス宛に、「参加情報の入力を受け付けました」というタイトルで、参加費支払い先の URL が記載されたメールが送信されます。メール記載の URL から、オンラインクレジットカード決済画面へとアクセスし、支払手続きを行ってください。

参加情報登録完了から72時間以内に必ず「オンラインクレジットカード決済」で参加費の支払いを完了させてください。

※支払期限を超過すると登録は無効となり、同じメールアドレスで新たな登録ができなくなりますので、期限までに支払いをお済ませください。

※新たに登録する場合は、異なるメールアドレスをご使用ください。登録ができないときは運営事務局までご連絡ください。

## (2) 支払方法

オンラインクレジットカード決済のみとなります。

利用可能なカードブランド



## (3) ID とパスワード

参加費のオンラインクレジットカード決済が完了すると、登録時に指定したメールアドレス宛に、登録のパスワードが送られます。登録の ID(メールアドレス)、パスワードは、オンデマンド配信の視聴に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

※送信先を携帯端末にされる場合、ドメイン・指定受信・本文に URL があるメールの受信拒否などの制限をかけている方は、システムからのメールを受信できないことがございます。参加登録に進む前に、「convention.co.jp」を指定受信設定してください。設定方法は、お使いの携帯電話会社によって異なります。

## (4) 参加章・領収証の発行

参加章・領収書の発行方法等は、参加登録時の自動返信メールをご確認ください。

#### (5) キャンセルポリシー

決済完了後は、学術集会参加登録のキャンセル、および教育研修単位取得講演の受講登録後のキャンセルはできません。また、決済完了後の参加区分の変更やキャンセルもお受けいたしかねますので、十分にご注意ください。なお、登録した講演を他の講演に変更することは可能です。

### 3. 総合受付(参加受付)

7月14日(木) 8:30~19:10	タワーホール船堀 5階 ロビー
7月15日(金) 8:30~17:00	

### 4. クローク

7月14日(木) 8:30~19:20	タワーホール船堀 5階 クローク
7月15日(金) 8:30~17:40	

### 5. 呼び出し

呼び出しは原則として行いません。

### 6. 掲示板・伝言板

総合受付付近に設置いたしますので、自由にご利用ください。

### 7. 食事

ランチョンセミナーではお弁当を用意いたしますので、ご利用ください。なお、数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。イブニングセミナーでの飲食の提供はありません。

### 8. 機器展示

7月14日(木) 9:00~17:40	タワーホール船堀 5階 ロビー
7月15日(金) 9:00~15:30	

### 9. 喫煙

館内には喫煙所がありませんので、あらかじめご了承ください。

### 10. 駐車場

タワーホール船堀の有料駐車場には限りがありますので、可能な限り公共交通機関でお越しください。

### 11. 録音と写真撮影

許可のない会場内での録音および写真・ビデオ撮影は、フラッシュ使用の有無にかかわらず、固くお断りいたします。ただし、日本整形外科学会・学術集会主催校・海外対応学会および共催企業が、会期中に会場内の写真・映像・音声を記録し、後日、教育や広報などのために、学会誌・ウェブ・冊子などの媒体上で使用する場合があります。参加者各位におかれましては、あらかじめご承知おきください。

### 12. 携帯電話や時計のアラームなど

会場内では、携帯電話(スマートフォン)をマナーモードに設定してください。

### 13. 服装

クールビズでいらしてください。

### 14. 会場内 Wi-Fi 環境について

会期中は、Wi-Fi(無線 LAN)がご利用になれます。接続先名、パスワードについては、当日ご案内いたします。

## II. 座長の皆様へ

1. 担当セッション開始時刻の 15 分前までに、会場内の次座長席にお着きください。
2. 進行は時間厳守でお願いいたします。

## III. 発表者の皆様へ

学会発表では患者のプライバシーを重視し、平成 16 年 12 月 1 日付けの会告(日整会誌 78 巻 12 号 996-997 頁, 2004 年)に記載された内容に準拠してください。

また、発表スライド・ポスターで必ず利益相反(COI)の開示をお願いいたします。

### 1. 発表形式

シンポジウム, 特別セッション	現地開催 ※当日のセッションを録画のうえ、 後日オンデマンド配信
ランチョンセミナー, イブニングセミナー	現地開催 ※オンデマンド配信なし
特別講演, 招待講演, 教育研修講演, 指導者講習会, 骨・軟部腫瘍特別研修会	事前収録の動画をオンデマンド配信
サテライトセッション	7/16・7/23 に Web-Live 配信 ※収録映像は後日オンデマンド配信
一般口演	発表動画をオンデマンド配信
Web セミナー (Web 共催セミナー)	Web-Live 配信またはオンデマンド 配信

### 2. 現地での発表の皆様へ

#### (1) 発表時間

発表時間は個別にご案内いたします。

(2) 発表時間終了の 1 分前に黄ランプ、終了時に赤ランプにてお知らせいたします。必ず発表時間を厳守してください。

(3) 次演者席を設けますので、前演者が登壇されましたら次演者席にお着きください。

#### (4) 発表方法

①口演発表は、PC による発表(1 面)のみです。発表中の画像操作は、演台に置かれたモニター・マウス・キーボードを使用し、ご自身で操作して画面を進めてください。

②スライドは原則として英語でお願いいたします。スライドの枚数に制限はありませんが、発表時間内に終了するようにご配慮ください。

#### (5) スライド比率

スライドの縦横比は 16 : 9 で作成ください。



(6) PC センターの時間・場所

PC センターにて、受付・試写をお済ませください。

7月14日(木) 8:30~17:40	タワーホール船堀 5階
7月15日(金) 8:30~15:30	

発表データは、CD-R または USB フラッシュメモリーでご持参いただくか、ご自身の PC をお持ちください。特にプレゼンテーションに動画などを含まれる方や Macintosh をご利用の方は、パソコン本体をお持ち込みください。

【発表データを持ち込まれる場合】

- ①会場に用意しているパソコンの OS は Windows 10 です。
- ②アプリケーションは、Microsoft PowerPoint Windows 2010/2013/2019 です。
- ③データを持参される場合は、CD-R または USB フラッシュメモリーとしてください。  
MO などそのほかのメディアには対応しておりません。
- ④特殊なフォントを使用されますと代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。フォントは Windows 10 標準のものをご使用ください。
- ⑤動画を使用される場合は、Windows 10(OS)および Windows Media Player 12 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください(動画ファイルは WMV 形式を推奨します)。
- ⑥発表 60 分前まで(各日最初のセッションは可能な限り早く)に「PC センター」で受付をお済ませください。
- ⑦「発表者ツール」は使用できません。

【PC を持ち込まれる場合】

- ①発表 60 分前まで(各日最初のセッションは可能な限り早く)に「PC センター」で、動作チェックをお済ませください。
- ②発表 30 分前までに、会場内演者席付近の「PC オペレーターデスク」までご持参ください。
- ③電源アダプターおよび外部出力用に特殊なコネクタが必要な場合はそのコネクタを必ずご持参ください(会場にはミニ D-sub15pin のモニター出力端子のみ用意いたします)。
- ④スクリーンセーバーならびに省電力設定は解除してください。
- ⑤スムーズな進行のために「発表者ツール」の使用はお控えください。





#### IV. 教育研修単位を取得される皆様へ

- (1) 単位取得は有料です(1 単位 1,000 円).
- (2) 本学術集会において教育研修単位を取得できる講演は、特別講演、招待講演、教育研修講演、ランチョンセミナー・イブニングセミナー・Web セミナー(Web-Live・オンデマンド)です。取得可能単位数の上限は、計 11 単位です。そのうち、Web-Live およびオンデマンド視聴で取得できる単位の上限は、合計 8 単位です。  
上限単位には、骨・軟部腫瘍特別研修会の単位は含まれません。
- (3) 取得可能単位数について

	骨・軟部腫瘍学術集会参加単位	骨・軟部腫瘍学術集会での受講により取得できる最大単位数
専門医認定資格を得るための研修期間の会員	—	現地・Web-Live およびオンデマンドあわせて 11 単位
日本専門医機構認定整形外科専門医	3 単位	※うち、Web-Live およびオンデマンド視聴で取得できる単位は合計 8 単位まで

- (4) 教育研修単位取得講演の受講手続きについて

##### (現地受講の場合)

学術集会ホームページより単位申込画面にお進みいただき、手続きをお取りください。ただし、規定の人数に達した場合、入場できないことがありますのでご了承ください。

講演開始 10 分前から、講演開始 10 分後までに IC 会員カードを講演会場入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎて受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

##### (Web-Live 配信・オンデマンド配信受講の場合(共通事項))

参加登録をお済ませのうえ、学術集会ホームページより単位申込画面にお進みいただき、講演開始 10 分前までに受講手続きをお済ませください。

以下の場合、受講履歴がクリアされるため、単位取得が認められませんのでご注意ください。

- ・視聴開始したあと、別のページに移動する。
- ・ブラウザの「戻る」ボタンで戻る。
- ・ブラウザを閉じる。

具体的な画面操作方法は、学術集会ホームページにてご案内します。

##### (Web-Live 配信の場合(視聴～設問回答))

以下の手順で、講演を視聴してください。

- ① 日程表より、視聴したい Web-Live 配信セッションをクリックして講演開始 10 分前から講演開始 10 分以内に視聴開始してください。
- ② Zoom Webinar 画面に遷移したら、必要事項(名前・会員 ID 等)を入力して視聴を開始してください。
- ③ 安定したインターネット環境で動画を視聴してください。
- ④ Zoom Webinar 画面でのセッション視聴終了後、オンライン学術集会特設サイトに戻り、講演終了後 10 分以内に「視聴完了」ボタンを押してください。
- ⑤ 「設問回答開始」ボタンが押せるようになるので、同じく講演終了後 10 分以内に設問回答を開始してください。

- ⑥設問が表示されますので、設問に回答してください。
- ⑦「設問回答を送信」ボタンを押してください(合格となるまで複数回の回答が可能)。  
※「設問回答開始」を押してから30分以内のみ「設問回答を送信」が押せます。

(オンデマンド配信視聴の場合(視聴～設問回答))

- ①以下の手順で、講演を視聴してください。安定したインターネット環境で、オンデマンド配信サイトから動画を視聴開始してください。
- ②動画の再生終了後10分以内に、「視聴完了」ボタンを押してください。
- ③「設問回答開始」ボタンが押せるようになるので、同じく講演終了後10分以内に設問回答を開始してください。
- ④「設問回答開始」ボタンを押してください。
- ⑤設問が表示されますので、設問に回答してください。
- ⑥「設問回答を送信」ボタンを押してください(合格となるまで複数回の回答が可能)。  
※「設問回答開始」を押してから30分以内のみ「設問回答を送信」が押せます。

(5) Web-Live 配信およびオンデマンド配信セッション教育研修単位の取得について

【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。

オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画が「早送り」をされたり、Web-Live およびオンデマンド配信セッションの受講時に同じ時間帯に複数の端末等で再生がされた場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術総会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。

なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)してeテストに合格して単位申請すること。
2. 複数のPC・タブレット等で同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請すること。
4. 視聴前にeテストの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいはeテストを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

【不正行為の予防のために】

- ・eテスト合格後の単位申請について  
講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。
- ・eテスト解答開始までの時間制限  
講演の視聴終了後、10分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視

聴終了後 10 分を超えた時間が経過して e テスティングの解答を開始した場合の単位申請は認めません。

・ e テスティング解答時間の時間制限

解答時間には制限を設けます(領域講習(設問 1 題, 5 択形式)は 30 分以内, 共通講習(設問 5 題, 5 択形式)は 60 分以内)。視聴後, 「視聴終了」ボタンをクリックしたら, すぐに回答を始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので, 制限時間内に必ず回答してください。超過した場合, 理由の如何を問わず単位取得は認められません。

- ・ 初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- ・ 複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- ・ 不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。
- ・ オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限

聴講時に一時停止を認めます。ただし, 一時停止の上限は累計(停止回数は問わない)で 30 分とし, それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

**【特例措置】**

子育て中の医師については, 特例措置を設けます。申請は, 学会ホームページから『特例措置希望届』をダウンロードし, 必要事項を記入の上, 母子保健手帳の表紙と 1 ページ目の写しあるいは障害者手帳の写しと共に日本整形外科学会事務局あてにメールまたは郵送することで行ってください。審査後認可された医師に限り, 解答時間開始および解答時間の時間制限, 一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は 1 年間としますが, 再申請により延長を可能とします。なお, 母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また, 健常児の特例措置の適用は, 未就学児のみとします。

(6) 研修単位受講履歴の確認について

骨・軟部腫瘍学術集会オンデマンド配信期間終了後に取得単位が反映されます。詳細な反映時期は未定のため, 決まり次第学術集会ホームページでお知らせします。日整会ホームページの会員専用ページの会員マイページの「資格関連の単位振替システム」で取得単位状況をお確かめください。取得した単位で, 複数の必須分野等が認定されている場合, 自動的に小さい方の分類番号として登録されます。N1, N3, R が認定されている場合, 自動的に N1 になります。N3 や R の単位として登録したい場合は, 後日「単位振替システム」を使って変更してください。なお, 同一時間帯での複数受講記録がある場合は過誤データになりますので, 「単位振替システム」にて訂正してください。3 カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には, 一定のルールに従って機械的に削除されますのでご注意ください。

(7) 骨・軟部腫瘍学術集会参加単位の取得

骨・軟部学術集会参加単位は, オンデマンド配信期間終了後に, 参加登録情報に基づいて自動的に登録されます。整形外科専門医の学会参加単位は 5 年間で 6 単位まで認められます。

(8) 研修手帳貼付用の受講シールの発行

研修手帳貼付用の受講シールの発行は, 平成 27 年 1 月から開始された単位取得のデジタル化により廃止いたしました。演題名を含む受講記録が日本整形外科学会ホームページ会員専用ページの「会員マイページ」に表示されます。未専門医の方は, 専門医申請の際には, ご自身の単位取得履歴一覧をプリントアウトして他の必要書類と一緒にご提出ください。

## V. 第 61 回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会開催について

本学術集会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この研修会の2つの講演を受講すると整形外科専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位2単位が取得できます。

- 内 容 : 1. 「骨転移の診断と治療」  
講師 鳥越知明(埼玉医大国際医療センター)  
2. 「軟部腫瘍の診断と治療」  
講師 山田健志(岡崎市民病院)
- 配信方法 : オンデマンド配信  
対 象 : 未整形外科専門医(今後、整形外科専門医試験を受験予定の方)  
定 員 : なし  
受講方法 : オンデマンド配信サイトからご視聴ください。事前の単位申し込みは必要ありません。

## VI. 第 30 回 日本整形外科学会指導者講習会開催について

- 内 容 : 1. 「感染に関する講演」  
座長 西田 淳(東京医科大学整形外科)  
講師 小林 治(国立がん研究センター中央病院感染症部)  
2. 「Cadaver Surgical Training に関する倫理講習」  
座長 山本謙吾(東京医科大学整形外科)  
講師 七戸俊明(北海道大学大学院医学研究院外科系部門外科学分野、  
日本外科学会 CST 推進委員会)
- 配信方法 : オンデマンド配信  
対 象 : 日整会認定研修施設等の指導的立場の整形外科専門医  
受講方法 : オンデマンド配信サイトからご視聴ください。事前の単位申し込みは必要ありません。  
受講証明書 : 会期終了後1カ月以降に日整会会員専用ホームページの会員マイページより印刷してください。  
そ の 他 : 本講習会を受講すると、新専門医制度の専門医共通講習の必須講習の「感染対策」、「医療倫理」の各1単位が取得できます。

## VII. 各アワードのお知らせ

### 1. Best Presentation Award/Best Case Report Award

「一般演題」および「人に伝えたい症例」の発表の中から優れた演題を、「Best Presentation Award」「Best Case Report Award」としてそれぞれ選出します。

査読結果をもとに事前に出した候補演題の中から、オンデマンド視聴期間中にいただいた視聴者からの投票結果をもとに受賞演題を決定します。

投票方法等の詳細は、ホームページをご確認ください。

候補者は、19-20 ページに掲載しております。

## **2. Hottest Topic Award**

サテライトセッションの発表者の中から、優れた演題を「Hottest Topic Award」として選出します。

## **3. Best Discussant Award**

シンポジウム・特別セッションの発表者および質問者の中から、優れた議論を行った方を「Best Discussant Award」として選出します。

## Award 候補演題一覧

### Best Presentation Award 候補演題

演題番号	氏名	所属	演題名
1-FP02-3	松岡 正剛	北大大学院整形	四肢原発軟部肉腫症例における患肢温存術と切断術の比較 —米国 SEER データベースを用いた研究—
1-FP03-2	小倉 浩一	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	悪性骨腫瘍切除後のローテーティングヒンジ型腫瘍用人工膝 関節 (Finn/OSS システム) の長期成績
1-FP08-4	伏見 幸弘	慶大看護	学童期の子どもをもつ骨・軟部腫瘍の親患者を支える —子どもに病氣と治療を伝えていく—
1-FP11-5	川江 雄太	北大大学院整形	軟部肉腫患者における肝転移発生に寄与するリスクファク ターの検討：米国 SEER データベースを用いた研究
1-FP11-6	鬼頭 宗久	信州大運動機能学	本邦における低悪性度筋線維芽細胞肉腫の治療成績 —骨軟 部肉腫治療研究会 (JMOG) 多施設共同研究—
1-FP14-2	三原 惇史	山口大大学院整形	好中球-リンパ球比, 単球-リンパ球比, 血小板-リンパ球比, リンパ球絶対数は軟部肉腫診断に有用か
1-FP15-1	吉田新一郎	東北大大学院整形	高齢者軟部肉腫に対する補助放射線療法を併用した R1 切除 の治療成績
1-FP16-1	相羽 久輝	名市大大学院整形	Tail-like lesion を有する悪性軟部腫瘍に対する術前療法の効 果に関する検討 —東海骨軟部腫瘍コンソーシアム多施設 共同研究—
1-FP17-1	森井 緑郎	奈良医大整形	晩期に局所再発した骨巨細胞腫において悪性転化のリスクが 上昇する
1-FP24-3	林田 健太	横浜市大整形	D-dimer を用いた術前スクリーニングによる骨・軟部腫瘍の 静脈血栓塞栓症：単一施設における 756 例の検討
1-FP25-3	石原 新	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	エリプリンを使用した進行・再発軟部肉腫患者における予後 予測因子としての末梢血リンパ球数と好中球リンパ球比の検討
1-FP26-5	清水 淳也	札幌医大整形	進行期肉腫患者に対する包括的ゲノムプロファイリング検査 の治療経験
1-FP27-1	伊藤 慶	都立駒込病院放射線診療科 治療部	転移性脊髄圧迫に対する分離術および体幹部定位放射線治療 に関する第 II 相試験
1-FP27-4	根津 悠	神奈川県立がんセンター 骨軟部腫瘍外科	悪性骨・軟部腫瘍に対する重粒子線治療成績は炎症関連マー カーと関連するか
1-FP29-1	佐藤 健二	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	大腿骨遠位部原発の悪性骨腫瘍に対する膝関節包外切除は, 包内切除と比べ患肢機能は劣らない
1-FP30-1	小林 英介	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	上腕骨近位・肩関節周囲発生腫瘍における血管柄付き腓骨吊 り下げ術 (sling procedure) の治療成績
1-FP31-5	佐藤ちあ紀	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	悪性骨・軟部腫瘍に対し骨盤内臓全摘術を施行した 4 例
1-FP33-1	白石さくら	九大大学院整形	骨盤・体幹部に発生した骨・軟部腫瘍切除術後の感染の危険 因子
1-FP34-3	宮城 道人	静岡がんセンター整形	下肢悪性骨腫瘍に対する自家処理骨を用いた関節温存手術の 成績
1-FP35-1	島田英二郎	九大大学院整形	DNA メチル化阻害剤は脱分化型軟骨肉腫に有効な治療薬と なりうる



演題番号	氏名	所属	演題名
1-FP35-2	津田 祐輔	東大大学院整形	Whole exome sequence/RNA sequence による腱滑膜巨細胞腫の新規融合遺伝子、遺伝子変異の同定
1-FP35-4	船内 雄生	医科歯科大大学院整形	Multi-omics analysis による粘液型脂肪肉腫の新規治療標的蛋白の同定
1-FP35-5	近藤 宏也	岡山大病院整形	臓器指向性分泌サイトカイン/細胞外小胞を介した cell-cell communication による骨肉腫の新しい肺転移形成機構の同定
1-FP35-7	前 裕和	阪大大学院整形	HDAC 阻害薬による淡明細胞肉腫融合遺伝子 EWS-ATF1 の発現抑制メカニズムの解明とその効果を増強する薬剤の発見
1-FP36-3	林 大智	京府医大大学院 運動器機能再生外科学	骨肉腫細胞に対し細胞周期に作用することで抗腫瘍効果と腎保護作用の両立を認めた天然有機化合物「デカルシン」
1-FP36-7	石原 新	九大形態機能病理	悪性骨巨細胞腫の組織と遺伝子変異の検討：TP53 遺伝子変異と H3K27me3 の消失に関して
1-FP37-3	吉田 圭佑	三重大学院運動器外科	放射線治療は肉腫細胞および exosome 上の PD-L1 を誘導する
1-FP40-1	藤田健太郎	金沢医療センター	転移性脊椎腫瘍に対するリエゾン治療の現状と有用性
1-FP42-1	酒井 智久	名大整形	緩和的放射線照射を施行した大腿骨転移性骨腫瘍の特徴および照射後の手術介入リスクの検討
1-FP45-4	浅野 陽平	金沢大大学院整形	非小細胞肺癌の骨転移と予後に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果と効果予測因子の解析

### Best Case Report Award 候補演題

演題番号	氏名	所属	演題名
1-H01-1	森岡茉莉子	慶大整形	骨膜性骨肉腫との鑑別を要した、高安動脈炎に伴う大腿骨骨膜炎の1例
1-H02-7	鈴木 一史	宮城県立がんセンター整形	大腿骨に発生した慢性拡張性血腫の1例
1-H03-3	井上 慎吾	和歌山医大整形	異型脂肪腫様腫瘍との鑑別を要する良性腫瘍：atypical pleomorphic lipomatous tumor の1例
1-H03-4	金森 昌彦	富山大人間科学	PET 検査陰性を呈した粘液型脂肪肉腫 t (12;16) (q13;p11.2) の1例
1-H04-4	本多 洋介	浜松赤十字病院	陽子線治療が奏功した骨盤発生骨外性粘液型軟骨肉腫の1例
1-H04-6	増田 翔	大阪府済生会中津病院整形	大腿骨に広範囲骨溶解を来し、大腿骨全置換術を要した Gorham-Stout 病の1例
1-H05-1	辻 華子	東医大整形	病的骨折に対し、創外固定、デノスマブ投与にて骨癒合獲得後、関節鏡を併用し搔爬を行った大腿骨遠位端骨巨細胞腫例
1-H05-3	土江 博幸	秋田大整形	腹壁発生の Round cell sarcoma with EWSR1-non-ETS fusion (EWSR1-NFATC2 sarcoma) の1例
1-H05-4	戸田 雄	国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハ科	悪性骨腫瘍が疑われた成人 Gorham-Stout 症候群の2例
1-H05-5	高岡 宏行	順大整形	リン酸塩尿性間葉系腫瘍による腫瘍性骨軟化症の3例

(演題番号順)



## 抄録査読委員

相羽久輝	阿江啓介	秋末敏宏	秋山 達	浅沼邦洋	浅野尚文
穴澤卯圭	阿部哲士	新井英介	荒木信人	家口 尚	生田国大
伊原公一郎	今井礼子	今西淳悟	岩田慎太郎	上田孝文	植野映子
江原 茂	江森誠人	遠藤 誠	王谷英達	大隈知威	大鹿周佐
岡本 健	岡本正則	小倉浩一	生越 章	尾崎修平	尾崎敏文
小田義直	小畠秀人	角永茂樹	片桐浩久	鴨田博人	川島寛之
河野博隆	河野正典	川端佑介	河本旭哉	神田浩明	菊田一貴
北川泰之	橘川 薫	城戸 顕	鬼頭宗久	国定俊之	五木田茶舞
小澤英史	小西英一	小林英介	小林 寛	小松原将	小柳広高
坂本武郎	佐々木裕美	佐藤信吾	紫藤洋二	篠田裕介	清水光樹
下瀬省二	白井寿治	白神伸之	末原義之	菅谷 潤	菅原正登
杉浦英志	杉原進介	須佐美知郎	薛 宇孝	曾根美雪	高木辰哉
高木正之	武内章彦	竹中 聡	竹山昌伸	田地野崇宏	田島 崇
多田広志	田仲和宏	谷澤泰介	丹澤義一	張 劉喆	筑紫 聡
土屋弘行	當銘保則	土岐俊一	戸口田淳也	富田雅人	鳥越知明
中 紀文	中島久弥	中田英二	中谷文彦	中西克之	永野昭仁
永野 聡	中村知樹	中山ロバート	西庄俊彦	西田 淳	西田佳弘
沼本邦彦	根津 悠	野島孝之	萩原洋子	箱崎道之	長谷川匡
畠野宏史	馬場一郎	濱田健一郎	濱田哲矢	早川景子	久岡正典
平岡弘二	平賀博明	蛭田啓之	比留間徹	廣瀬 毅	福島 俊
福田国彦	福永真治	藤田郁夫	藤淵剛次	藤本卓也	藤本 肇
藤本良太	麩谷博之	朴木寛弥	保坂正美	星 学	堀内圭輔
松尾俊宏	松延知哉	松峯昭彦	松本嘉寛	三宅基隆	名井 陽
村田秀樹	村田博昭	元井 亨	森 智章	森井健司	森岡秀夫
矢澤康男	安田剛敏	柳川天志	山家健作	山口岳彦	山田健志
山本麻子	山本宗一郎	山本哲司	山本憲男	横尾 賢	横山信彦
吉田朗彦	吉田雅博	吉田行弘	米本 司	和佐潤志	渡部逸央
渡邊拓也	渡辺みか	綿貫宗則			

(165名, 五十音順, 敬称略)

## 第55回 日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 講演一覧

### 特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	配信	日時	単位種別	必須分野	認定番号 22-0387	他学会 単位
1	世界最速をめざす義足	遠藤 謙	S1304	オンデマンド配信	7月16日(土)～ 8月31日(水)	N,S	12,13	11	リハ
2	整形外科医が腫瘍をみるということ —骨・軟部腫瘍医が果たすべき役割—	河野博隆				N	5	12	
3	患肢温存手術の発展	川島寛之	S1305			N	5,13	13	
4	骨・軟部腫瘍におけるエビデンスの構築	田仲和宏				N	5	14	
5	がんどころ ー苦悩する患者にどのように医療者は向き合うのかー	清水 研	S1306			N	5,8	15	
6	総合病院における整形外科診療と骨・軟部腫瘍 ーその意義と課題についてー	森岡秀夫				N	5,13	16	

### 招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	配信	日時	単位種別	必須分野	認定番号 22-0387
1	The International Bone Metastasis Registry: Lowering the activation energy for international collaboration	Jonathan A. Forsberg	S1302	オンデマンド配信	7月16日(土)～ 8月31日(水)	N	5	8
2	Personalized Sarcoma Care (PERSARC): From international collaboration towards patient tailored sarcoma care and follow-up using individualized dynamic prediction models	Michiel A.J. van de Sande	S1303			N	5,13	9
3	Diagnostic approach of soft tissue tumors	Jeung Il Kim				N	1,5	10

### 教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	配信	日時	単位種別	必須分野	認定番号 22-0387	他学会 単位
1	骨・軟部腫瘍の病理:WHO第5版ハイライト	吉田朗彦	S1307	オンデマンド配信	7月16日(土)～ 8月31日(水)	N	1,5	17	
2	小児期およびAYA世代に好発する骨・軟部肉腫の治療戦略	荒川 歩				N	3,5	18	
3	希少疾患である骨・軟部腫瘍のリハビリテーション診療	西田佳弘	S1308			N,Re	5,13	19	リハ
4	骨・軟部腫瘍・整形外科手術のための上肢の外科的解剖	稲垣克記				N	1,9	20	
5	骨・軟部腫瘍・整形外科手術に役立つ骨盤の機能解剖	野田知之	S1309			N	1,11	21	

### 特別セッション

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時
1	骨・軟部腫瘍ケースカンファレンス	小田義直, 川井 章	S1272-73	1	14日 17:40-19:10

## シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	
1	感染させない“mega-prosthesis”手術	尾崎敏文, 稲葉 裕	S1261-63	1	9:10-10:50	
2	術後QOL/患者視点で見た骨・軟部腫瘍	松峯昭彦, 米本 司	S1264-66		14日	11:00-12:40
3	ビッグデータと骨・軟部腫瘍 —全国骨軟部腫瘍登録—	西田佳弘, 遠藤 誠	S1268-70			14:30-16:10
4	転移性骨腫瘍の新たな展開	高木辰哉, 松延知哉	S1274-76		15日	9:00-10:00
5	胸壁悪性腫瘍に対する治療戦略	国定俊之, 筑紫 聡	S1277-79			10:10-11:50
6	骨・軟部腫瘍医のキャリアパス 一次世代育成に向けて—	阿江啓介, 小林英介	S1281-83			13:40-15:20
7	ゲノム医療時代の骨・軟部腫瘍医	岩田慎太郎, 根津 悠	S1284-86			15:30-17:10

## ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単 位 種 別	必 須 分 野	認定番号 22-0387	
1	進行期軟部肉腫に対する薬物療法	田仲和宏	S1267	1	14日	13:10-14:20	N	5	1
	悪性軟部腫瘍に対するトラベクテジンのエビデンス —先輩の偉業に敬意を表し、現状を深く知り、そして未来を切り開こう—	遠藤 誠							
2	骨・軟部腫瘍領域におけるcomputer assisted tumor surgery (CATS)の有用性と今後の展望	船内雄生	S1280		15日	12:20-13:30	N	5,11	3

## イブニングセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単 位 種 別	必 須 分 野	認定番号 22-0387	
1	腫瘍用人工関節再建の手術戦略 —知識と経験の共有—	筑紫 聡	S1271	1	14日	16:20-17:30	N	5,12	2

## Webセミナー (Web共催セミナー)

No.	タイトル	講師	抄録	配信	日時	単 位 種 別	必 須 分 野	認定番号 22-0387	
1	腫瘍血管リモデリングにおける重積血管新生の関与	堀内圭輔	S1293	Web Live 配信	20日	19:00-20:00	N	1,5	22
	Real-World Dataから見る進行性軟部肉腫におけるエリプリンの有効性と安全性	小林 寛							
2	サルコーマのゲノム医療	内藤陽一	S1294		21日	19:00-20:00	N	1,5	23
3	希少がんセンターの取り組み —肉腫(サルコーマ)患者のより良い医療のために—	加藤陽子	S1295	Web Live 配信	22日	18:30-19:30	N	5	24
	悪性軟部腫瘍の希少性と多様性に対して、われわれはどう対峙すべきか。—多職種連携の重要性と地域希少がんセンターに求められる役割—	遠藤 誠							
4	悪性軟部腫瘍の画像診断のポイント	三宅基隆	S1310	オン デマ ンド 配信	7月16日(土)~ 8月31日(水)	N	1,5	5	
	悪性軟部腫瘍の病理診断のポイント	久岡正典							
5	サルコーマにおけるがんゲノム医療の新展開	中田英二	S1311			N	1,5	4	

No.	タイトル	講師	抄録	配信	日時	単位 種別	必須 分野	認定番号 22-0387
6	骨粗鬆症や脊柱管狭窄症, 関節リウマチと鑑別すべき疾患 —腫瘍性骨軟化症—	伊東伸朗	S1311	オン デ マ ン ド 配 信	7月16日(土)~ 7月29日(金)	N	4	6
7	良性骨腫瘍の診断と治療	小林英介	S1312		7月16日(土)~ 8月31日(水)	N	5	7
8	骨転移診療のあり方	高木辰哉	S1302	Web - Live 配信	26日 19:00-20:00	-	-	-

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

---

N: 日整会専門医単位 S: スポーツ単位 R: リウマチ医単位  
SS: 脊椎脊髄病医単位 Re: 運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

---

- 1 整形外科基礎科学
  - 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
  - 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
  - 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
  - 5 骨・軟部腫瘍
  - 6 リウマチ性疾患, 感染症
  - 7 脊椎・脊髄疾患
  - 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
  - 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
  - 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
  - 11 骨盤・股関節疾患
  - 12 膝・足関節・足疾患
  - 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
  - 14-1 医療安全
  - 14-2 感染対策
  - 14-3 医療倫理
  - 14-4 その他の共通講習  
医療制度と法律, 地域医療, 医療福祉制度, 医療経済(保険医療), 臨床研究・臨床試験, 災害医療, 両立支援
  - 14-5 1～13ならびに14-1～14-4に当てはまらないもの
-

## 令和4年7月14日(木)

会場名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場 5F 大ホール	00 10 開会式	シンポジウム 1 感染させない “mega-prosthesis”手術 1-SY01-1~6 S1261~63	50 00	シンポジウム 2 術後QOL/患者視点で見た 骨・軟部腫瘍 1-SY02-1~6 S1264~66	40 10 20 P R

## 令和4年7月15日(金)

会場名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場 5F 大ホール	00	00 10 シンポジウム 4 転移性骨腫瘍の 新たな展開 2-SY04-1~6 S1274~76	シンポジウム 5 胸壁悪性腫瘍に対する治療戦略 2-SY05-1~6 S1277~79	50 20 30 P R	ランチョン セミナー 2 船内雄生 2-LS02-1 S1280  ⑤⑪

14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
ランチョン セミナー 1 田仲和宏/ 遠藤 誠 1-LS01-1~2 S1267 ⑤	シンポジウム 3 ビッグデータと骨・軟部腫瘍 —全国骨軟部腫瘍登録— 1-SY03-1~6 S1268~70	P R	イブニングセミナー 筑紫 聡 1-ES-1 S1271 ⑤⑫	特別セッション 骨・軟部腫瘍 ケースカンファレンス 1-SS-1~6 S1272~73	

14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
シンポジウム 6 骨・軟部腫瘍医のキャリアパス 一次世代育成に向けて— 2-SY06-1~6 S1281~83		シンポジウム 7 ゲノム医療時代の骨・軟部腫瘍医 2-SY07-1~6 S1284~86	閉 会 式		